

日语 会话技巧教程

孙成志 闻 艺 / 主编



南开大学出版社

日语会话技巧教程

主编：孙成志 闻 艺

监修：真嶋润子

南开大学出版社
天 津

图书在版编目(CIP)数据

日语会话技巧教程 / 孙成志, 闻艺主编. —天津: 南开大学出版社, 2016.6

ISBN 978-7-310-05088-8

I. ①日… II. ①孙… ②闻… III. ①日语—口语—教材 IV. ①H369.9

中国版本图书馆 CIP 数据核字(2016)第 084426 号

版权所有 侵权必究

南开大学出版社出版发行

出版人: 孙克强

地址: 天津市南开区卫津路 94 号 邮政编码: 300071

营销部电话: (022)23508339 23500755

营销部传真: (022)23508542 邮购部电话: (022)23502200

*

河北昌黎太阳红彩色印刷有限责任公司印刷

全国各地新华书店经销

*

2016 年 5 月第 1 版 2016 年 5 月第 1 次印刷

260×185 毫米 16 开本 10 印张 235 千字

定价: 35.00 元(含光盘一张)

如遇图书印装质量问题, 请与本社营销部联系调换, 电话: (022)23507125

本教材受“中央高校基本科研业务费专项资金”资助
(DUT14RC(3)155) 出版

執筆者一覧（50音順）

- | | | |
|-----------|----------------|-----------|
| ・ウリガ（乌日嘎） | 太原理工大学 準教授 | 第4課 |
| ・大上協子 | 大阪大学 非常勤講師 | 第2課・第7課 |
| ・香月裕介 | 神戸学院大学 講師 | 第3課・第8課 |
| ・孫 成志 | 大連理工大学 準教授 | 第1課・第14課 |
| ・田中真衣 | 大阪大学 非常勤講師 | 第12課・第13課 |
| ・千葉朋美 | 大阪大学大学院 博士後期課程 | 第9課 |
| ・唐 曉煜 | 大連理工大学 講師 | 第6課・第10課 |
| ・聞 芸 | 大連理工大学 講師 | 中国語訳 |
| ・吉兼奈津子 | 大阪大学 非常勤講師 | 第5課・第11課 |

编者的话

编写方针

随着网络的普及以及全球化的不断深入，作为日语教师，我们经常会遇到这样的情况：有的学习者说着动漫中使用的日语；也有的学习者运用一板一眼的教科书日语来进行交流。后者的交流方式当然也能够成立，但是并不容易达到深入交流的目的。缺乏对语言背后的文化背景以及交际策略的了解，容易引起误解或摩擦。因此，我们认为在交流过程中文化上的相互理解有时比语言本身的掌握更为重要。本书对会话进行了功能方面的分类，希望学习者通过对本书的学习，能在了解日本文化的同时有效掌握日语会话的技巧，提高听说能力。

听的能力分为两种：一种是听课、听演讲之类单方面的听；另一种是听说交互存在的。而我们日常生活中经常遇到的情景是听取说话人的话语，理解对方的语义和情感，进而正确表达自己的意愿。此种能力在日常生活的交流中显得更为重要。

因此在选取会话场景方面，我们尽可能选择了中国大学生去日本留学时能够实际遇到的场景。并兼顾了听与说两方面的内容。当然本书并没有罗列出所有的日语功能和会话例。学习者可以将本书作为会话模板来使用。我们尽可能地将会话表现按照由简到难的顺序进行了排列。

使用对象

本书的使用对象为完成初级日语学习、能够进行简单日常会话的学习者。

本书构成及使用方法

本书分为两部分：基础知识篇（基礎知識編）和功能篇（機能編）

基礎知識編

- 第1課 話し言葉の表現スタイル
- 第2課 あいづち
- 第3課 コミュニケーション・ストラテジー

機能編

- | | |
|-----------------|---------------|
| 第4課 勧誘 | 第10課 提案・アドバイス |
| 第5課 感謝 | 第11課 許可 |
| 第6課 謝罪・お詫び | 第12課 予約 |
| 第7課 ほめる・ほめるに答える | 第13課 伝言 |
| 第8課 申し出 | 第14課 不満・苦情 |
| 第9課 依頼 | |

基础知识篇是对日语口语表达方式特征的总结。通过基础知识篇的学习，可以更顺畅地进行交流。而功能篇按照 11 个功能，具体地演示如何能委婉、地道地表达自己的想法。

本书各章彼此独立，可以随意翻开自己感兴趣的章节，也可以在遇到困难时翻开本书作为参考，还可以将本书作为读物阅读，了解日本文化。更可以按照我们设置的内容，来提高自己的听力及口语水平。功能篇的每一课又分为 5 个部分，可以循序渐进地进行学习。

(1) 到達目標

明示出每课学习中应达到的目标。通过这部分的内容可以了解每一课的学习内容及重点。

(2) やってみよう

这部分通过描述日语学习者常犯的错误，或者较易混淆的表达方式等，帮助学习者回忆和复习最常用的语言形式。除了解释错在何处之外，我们还提供正确的例句。在这些错误的例句中，也许学习者会找到自己的影子。

(3) 基礎表現

告诉学习者在会话中应使用的特有技巧，帮助学习者更好理解语言背后的文化差异。在最短的时间内学会地道的日语表达方式，提高口语交流能力。

(4) 応用会話

会话的编写以学习者日常生活中经常遇到的场景为主，设定了多种多样的人际关系及状况，并提供双方的亲疏关系和性别等社会文化信息。这样学习者就可以领会不同身份、不同场景下的不同表达方式。

这部分内容不仅可以作为会话模版来使用，也可以作为听力练习来使用。以此练习听取说话人的意图以及情感。在每一个会话后还有针对该会话的讲解，及中日语言行为的对比分析。通过解说让学习者领略日语表达的妙趣。

(5) 練習問題

设有听力和会话两种形式的练习，来帮助学习者巩固语言形式的同时，加深对文化差异的理解。同时培养“聞いて話す”（听说）的能力。

另外，全书最后设有附录。附录中有听力原文和会话练习的答案，对广大学习者的自学将大有助益。

我们希望，此书可以帮助日语学习者将“听力”与“会话”的训练有效结合，并在掌握语言形式和会话技巧的同时，加深对异文化交际的理解和沟通能力，实现“语言技巧训练”和“文化差异理解”的双丰收。

编者

2015 年 11 月

前書き

この度、『日語会話技巧教程』が世に出ることとなり、大変喜ばしく有難く思っている。中国の大学で日本語を学ぶ学生さんたちにとって、従来の文法・文型、語彙を中心とした教育だけでは、なかなか自然な日本語での会話能力が身につかないという反省があり、これまでに中国で出版された日本語教材にはない「言語機能」に着目した教科書を作ることになった。

本書の企画と制作の中心となってくれた孫成志さんの博士論文の主指導教員だったご縁で、本書の監修をお引き受けすることとなった。私自身は日本語教育学を専門とし、日本語教育と教員養成に携わっている。会話教育や言語の機能に着目した機能シラバスに基づく教え方や教材というのは、1980年代以降外国語教育の分野で注目されてきたことである。日本語教育の分野ではまだあまり教材化されていないので、孫さんが是非中国の大学で使えるものを作りたいと思ったのは良い着眼点であったと言えよう。監修は、私の同僚であり言語機能についても研究を行ってきた鈴木睦先生、筒井佐代先生にお願いすることもできたが、両先生には、本書の草稿段階でコメントをいただき、本書が中国の大学で出版される意義を認めて励ましていただいた。

それにしても、博士後期課程に留学中の孫成志さんを中心とした大阪大学の執筆者グループのメンバーの粘り強い努力には敬意を表したい。暑い時も寒い時も、それぞれが多忙なスケジュールを縫って集まりを持ち、執筆とフィードバックと議論を進めていった。それに加えて、大連の執筆者・協力者の迅速な働きもあって、中国と日本の協働作業によって完成したものであるという点は意義深いところだと考えている。執筆を集中して進めていたのは、折しも「日中国交正常化40周年記念」の2012年であった。

教材の出版はゴールではない。出発である。この本が、中国で日夜日本語学習に精を出す学生さんたちにとって、少しでも役立つことを願い、中国人と日本人がうまくコミュニケーションするための一方のツールとなることを、心から願っている。

本書の作成に当たって、ご尽力下さった執筆者はもちろん、コメントを下さった方々、録音に関わって下さった方々、編集に関わって下さった方々、もちろん出版社と大連理工大学の皆様、そしてその皆さんを支えて下さった周りの多くの方々のお蔭である。心より感謝し、ここにその意を記したい。

教科書として本書を使ってみて、現場の先生方や学生さんたちから、問題点や疑問点の指摘などがいただけたら、改訂することも検討したい。日本語教育の分野に、少しでも貢献できれば、望外の喜びである。

大阪大学大学院言語文化研究科

日本語・日本文化専攻 教授（日本語教育学） 真嶋潤子

目次

基礎知識編

第1課	話し言葉の表現スタイル	3
第2課	あいづち	11
第3課	コミュニケーション・ストラテジー	18

機能編

第4課	勧誘	27
第5課	感謝	36
第6課	謝罪・お詫び	46
第7課	ほめる・ほめに応える	55
第8課	申し出	64
第9課	依頼	73
第10課	提案・アドバイス	82
第11課	許可	92
第12課	予約	102
第13課	伝言	112
第14課	不満・苦情	121
付録	解答例・スクリプト	131

基 礎 知 識 編

第1課 話し言葉の表現スタイル

日语口语的表现形式

日本語では、初対面の相手に対して敬語や「丁寧体（です・ます体）」を使って丁寧に話します。しかし、いつまでも丁寧な言葉遣いを続けていると、相手との距離が縮まらず、親しくなることができません。同等であれば、親しくなると、話し言葉の文末表現は「普通体（だ・である体）」に変わっていきます。しかし、どんな場面で、誰に対し、どのように表現スタイルが変えられるのか、その判断は、学習者にとって難しいでしょう。

日语中，对初次见面的人要使用敬语或“礼貌体（です・ます体）”。但是，如果一直使用这种客气的表达方式，也就很难拉近与对方的关系，无法变得更加亲近。与身份同等的人熟悉以后，口语中的句末表现就可以转换为“普通体（だ・である体）”。然而，对于日语学习者而言，要学会在何种场景下、如何转换句末的表现形式并不容易。

そこで、まず話し言葉の表現スタイルについて、一緒に考えてみましょう。

1. 話し言葉の表現スタイルとは？

何谓日语口语的表现形式？

日本語の話し言葉の表現スタイルには、「丁寧体」(Polite style) と「普通体」(Plain style) の二つがあります。

日语口语的表现形式可分为“礼貌体 (Polite style)”和“普通体 (Plain style)”两种。

次の文はそれぞれどのスタイルでしょうか。

<会話1>日本語で書いた記事を日本人に読んでもらいたい時……【依頼】

想请日本人读一下用日文写的一篇报道

- A. よろしかったら、この記事を読んでいただけませんか？
- B. すまないけど、この記事読んでくれる？
- C. よかったら、この記事を読んでください。
- D. 悪いけど、この記事読んでくれない？

1. 丁寧体（です・ます体）

2. 普通体（だ・である体）

AとCは両方とも「です・ます」を用いており「丁寧体」です。Aは敬語の表現をたくさん使っているのだからCより丁寧な言い方です。BとDは、文末が「～てくれる?」「～てくれない?」なので、「普通体」です。

A和C都是以“です・ます”结句的“礼貌体”。例句A中更多地使用了敬语表现,是比例句C更为有礼貌的表达方式。B和D的句末表现分别是“～てくれる?”“～てくれない?”,是“普通体”。

日本語を話すとき、文末の表現において「丁寧体」か「普通体」のいずれかを選択しなければなりません、その選択は、「発話の場面」や「話し手と聞き手との関係」を判断して行われています。

日语对话中,句末表达一定要进行“礼貌体”或“普通体”的选择。这种选择一般是由“会话场景”及“会话双方的关系”来决定的。

2. 「発話の場面」による表現スタイルの違い

“会话场景”不同,表现形式不一

話し言葉の表現スタイルは、場面によってどう違うのかを見てみましょう。

<会話2-1>デパートで……「丁寧体(敬語)」

在百货商店

店員: 本日もABC百貨店にご来店いただきまして、誠にありがとうございます。
お客さまにご案内申し上げます。



<会話2-2>交番で……「丁寧体」

在派出所

男の人: すみませんが、森ビルというのは、どこにありますか。
警察官: その角を左に曲がると右です。
男の人: 右ですね。



<会話2-3>教室で親しい友達(女性)同士の雑談……「普通体」

教室里两位好朋友(女)在聊天

A: ねえ、今度の日曜日、暇?
B: うん、別に何もないけど……
A: 映画に行かない?
B: いいね。行く、行く!

発話の場面や相手によって、話し言葉の表現スタイルが変わっていますね。

「発話の場面」は、大きく「フォーマルな場面（公的な場面）」と「インフォーマルな場面（私的な場面）」に分けることができます。＜会話2＞でもわかるように、「フォーマルな場面」では、誰に対しても、必ず敬語を含む「です・ます」の「丁寧体」で話します。一方、「インフォーマルな場面」では、友人や家族など親しい相手に対しては、「普通体」で話すほうが自然です。

「フォーマルな場面」と「インフォーマルな場面」は、原則として具体的に以下のような場面を指します。

根据会话场景及对象的不同，日语口语的表现形式发生了一些变化。

“会话场景”大体上可分为“正式的情况”和“非正式的情况”。如＜会话2＞所示，在“正式的情况”中，无论对方是谁，都应该使用“です・ます”的“礼貌体”。而在“非正式的情况”中，与朋友或家人等比较亲近的人交谈时，使用“普通体”会更自然一些。

“正式的情况”和“非正式的情况”，原则上可以指代如下各个场景。

丁寧体を使う 「フォーマルな場面」	普通体を使う 「インフォーマルな場面」
1. 講演会やスピーチの時	1. 家族や家庭の中
2. 仕事の場	2. 親しい友達との私的な場面
3. 店や（市役所などの）公共機関	
4. 授業中や会議中	

同じ出来事を同一の相手に話すときでも、「フォーマルな場面」か「インフォーマルな場面」かにより、文末表現のスタイルが変わります。

即使是对同一个人说同一件事，根据“正式情况”和“非正式情况”的不同，句末表达也会发生变化。

<会話3> 新年会の幹事（同等の人）に手伝うことを申し出る……【申し出】

向新年的的干事（同龄人）主动提出要帮忙

（インフォーマルな場面：喫茶店でお茶を飲みながら）

忙しそうですね。お店との打ち合わせとかは私がやろうか。

（フォーマルな場面：準備会議の時、みんなの前で）

私であれば、お店との打ち合わせをやらせてください。

3. 「話し手と聞き手との関係」による表現スタイルの違い

“会話双方向的关系”不同，表现形式不一

まず、次の会話を読んで一緒に考えましょう。

<会話4>

田中さんと林さんは、同じ日に、レストランでアルバイトを始めました。年齢は同じですが、二人は知り合いではありません。最初に会った時と親しくなった時の会話では、表現スタイルがどのように違うのでしょうか。

《はじめての会話》……「丁寧体（敬語）」

林：林です。どうぞ、よろしくお願いいたします。

山下：山下と申します。こちらこそ、どうぞよろしくお願いいたします。

《少し慣れたころ》……「丁寧体」

林：山田さんがこの箱を二人で片付けるように言ってました。

山下：そうですか。じゃあ、お昼休みまでにしてしましましょう。

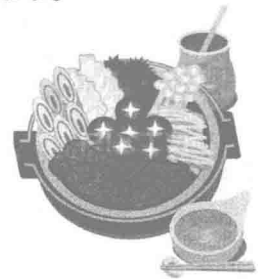
《親しくなったら》……「普通体」

山下：バイトの後、何か用ある？

林：特にないけど。

山下：すき焼き食べに行かない？急に食べたくなって。

林：いいよ。どこかいい店知ってる？



初めて会ったときは、基本的にまず敬語や「です・ます」の文体を使って丁寧（けいご）に話します。その後、相手との距離をお互いに観察しながら、スタイルを調整（てんせい）してきています。同じくらいの年齢（ねんれい）の相手には、親しくなったら、「普通体」で話すのが自然です。

初次见面时，一般都使用敬语或“です・ます”的文体，有礼貌的进行对话。随后，会话双方会互相观察彼此来调整自己的说话方式。对同一年龄的双方而言，变得熟悉以后，使用“普通体”是比较自然的。

では、「話し手と聞き手との人間関係」から
いうと、どんな理由で話し言葉の表現スタイル
を決めていくのでしょうか。

(1) 年齢（上下関係①） 年齢（上下关系①）

年上の人に対しては、「丁寧体」を使うのが
基本です。しかも、年齢で上下関係をつける
場合、どんなに親しくなっても、「です・ます」
の「丁寧体」を使います。

例えば、日本の大学では、同じ研究室や
サークルの先輩と後輩の関係は、とても親し
い場合が多いですが、親しくなって年上の人
が「普通体」を使い始めても、年下の方は「丁
寧体」を使います。

<会話5>部活の仲間（女性同士）の会話
……AとBはどちらが年上でしょうか？
活動小組为好友间（女性）的对话
A：この週末ドライブ行こうと思うんだけど、
一緒に行かない？【勧誘】
B：すみません、週末はちょっと用事があって。
【勧誘に対する断り】

(2) 社会的地位（上下関係②） 社会地位（上下关系②）

会社や学校など、組織には課長か社員、教
授か大学院生などいろいろな役職がありま
す。このような役職も上下関係をつくり、年
齢より優先されます。

また、店・会社と客などのような、サービ
スをする側とサービスを受ける側という立場
の場合、店や会社の方は、自分より若い客に
対しても「丁寧体」で話します。

那么，“会话双方的关系”又是如何
来决定口语的句末表现形式的呢？

一般而言，对年长者要使用“礼貌
体”。而且，年龄决定上下关系，无论与
对方多么亲近，都应该使用“です・ま
す”的礼貌体。

例如，在日本大学当中，同一研究室
或活动小组中的学长和学弟，很多时候相
互都是很亲近的。但是，大家熟悉之后，
岁数大的人即使开始使用“普通体”，岁
数小的一方也应该继续使用“礼貌体”。



公司或学校等社会组织中会有如同
课长与社员，教授与研究生等的社会职
务。这种社会职位也会决定上下关系，
而且优先于年龄因素。

另外，面对商店/公司与顾客这种服
务与被服务的关系时，即使是面对比自
己年轻的顾客，也要使用“礼貌体”。

<会話 6>授業中、紹介された本を見せてほしい時……【依頼/許可求め】

上课时，想要看一下别人介绍的书

(先生に対して)

先ほどご紹介の本、ちょっと見せていただけますか。

(同じゼミの後輩に対し)

さっきの本、ちょっと見せてくれる？

(3) 会話の相手との心理的距離 (親疎関係)

与对方的心理距离 (亲疏关系)

会話の相手とどのぐらい親しいか (親疎) で、言葉遣いが決まります。同級生の中で、親しくなったら、友達同士のように「普通体」でしゃべる場合が多いです。しかし、「親・疎」の感覚は、母国の文化や習慣による影響のほか、個人差による違いも多少ありますので、どんなスタイルで話すかは、相手の気持ちをきちんと理解した上で、その人の話し方に表現スタイルを合わせる事が大事です。

会話双方的亲疏关系，也会影响词语的选择。同年级的同学之间，熟悉以后，多会像朋友般使用“普通体”对话。但是，“亲/疏”的感觉，除受母语文化和习惯的影响外，也会存在一定的个人差异。所以，使用哪种句末表现形式，关键是要去理解对方的心情，并在此基础上迎合对方的说话形式。

<会話 7> 次回の打ち合わせの時間について相談している

……相手との親疎関係による表現の違いは？【提案】

正在商量下一次开会的时间

(同じゼミの親しい同級生に対して)

次回の打ち合わせは来週の金曜日に延ばしたら？

(最近授業で知り合いとなったばかりの同級生)

次回の打ち合わせですが、ちょっと延ばすことは可能でしょうか。

(4) 「ウチ・ソト」の人間関係

“内/外” 关系

日本の社会では、家族や会社など、自分が属するグループ (ウチ) とそれ以外 (ソト) とで、言葉遣いが変わることがあります。家族の人に対しては、「普通体」が使われる場合が多いです。

日本社会中，家庭与公司，需要依据自己所属的“内”“外”群体的不同来调整自己的语言形式。对家人一般多使用“普通体”。